

麻疹(疑い)と診断されたら・・・

麻疹は、非常に感染力が強く、空気感染で次々に広がっていく可能性があります。重症化すると肺炎や脳炎などの合併症で死に至ることもある病気です。

以下のことに注意して、感染が広がらないようにしましょう。

一時熱が下がっても油断できない！

【麻疹の症状】

- ①カタル期：38℃前後の発熱・咳・鼻汁・結膜充血・眼脂（めやに）等が見られる。熱が一時下がる頃、頬粘膜にコプリック斑が出現する。
- ②発疹期：一時下降した熱が再び高くなり、耳後部から発疹が現れて下方に広がる。
- ③回復期：解熱し、発疹は出現した順に色素沈着を残して消えていく。

感染してから症状が現れるまで（潜伏期間）：10～12日

人に感染していく期間（伝播可能期間）：発病1～2日前から発疹出現4～5日後

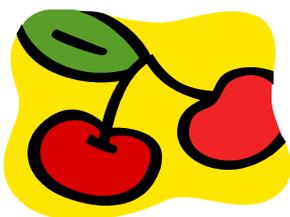
【家庭での注意点】

- ☆家族内で、麻疹ワクチン未接種かつ麻疹に罹ったことが無い人は、直ちに麻疹ワクチンを接種しましょう。ただし、1歳未満の乳児については、かかりつけ医に相談してください。
- ☆家族内に発熱、咳などの症状が現れた場合は、速やかに受診し、家族内に麻疹(疑い)と診断されたことを伝えてください。
- ☆麻疹は、空気感染です。咳が出る場合は、マスクを着用してください。（咳エチケット）
- ☆水分をとり、ゆっくり休養しましょう。

【職場等に関する注意】

- ☆職場等に、麻疹(疑い)であることを伝えてください。発熱等症状が現れる1～2日前には、感染性があるとされています。職場内でも、麻疹ワクチン未接種かつ麻疹に罹ったことが無い人には、麻疹ワクチン接種を勧奨してください。
- ☆職場等は、解熱後3日を経過するまでは休むよう御協力ください。

心配なこと、疑問などありましたら置賜保健所まで
ご相談ください。



置賜保健所感染症対策担当

電話：0238-22-3002